

京都みつばちガーデン推進プロジェクト みつばち冒険隊を開催します!

区役所屋上庭園で飼育しているニホンミツバチの見学やはちみつを使った調理実習を行います♪
ミツバチを通じて自然の大切さや豊かな食生活について楽しく学んでみませんか?皆様のご参加、お待ちしております♪



当日の献立

- ・甘辛キーマカレー
 - ・はちみつさっぱり夏野菜サラダ
 - ・はちみつスカッシュ
- ※献立は変更になる場合があります。

申込み 往復はがき又はメールにて、児童の住所、氏名、電話番号、学校名、学年、参加希望回(①か②)及び保護者の氏名を記入しお申込みください。

宛先 〒604-8588
中京区役所「みつばち冒険隊」係
e-mail: nakagyo-chiikiryoku@city.kyoto.jp

締切り 7月3日(金)必着
※申込者多数の場合は抽選により受講者を決定します。結果につきましては、はがき又はメールにて通知します。

問合せ 健康づくり推進課(☎812-2594)

日時 8月6日(木)①午前10時~12時半
②午後2時~4時半

内容 ★屋上庭園とミツバチの巣箱見学
★管理栄養士による調理実習「はちみつでクッキング♪」+試食・交流
★ミツバチが喜ぶ植物の育て方教室

会場 中京区役所屋上庭園、保健センター
対象 中京区内在住の小学生

※保護者も参加できますが、調理実習は見学のみとなります。(小学生以下の弟妹同伴の見学については、ご相談ください。)

※アレルギーのある方は、事前にご相談ください。

定員 各回20名

持ち物 エプロン、三角巾、手拭きタオル、上靴(子ども用)、飲み物

参加費 1名500円



昨年の様子

高倉小学校 祇園祭とヒオウギ

5月21日、総合学習で「祇園祭」を学ぶ高倉小学校の5年生が、祇園祭にかかすことのできる花「ヒオウギ」について学び、実際に苗植えを行いました。「ヒオウギ」は、祇園祭の時期に鈴町などで飾られ、祭りを彩る花として親しまれています。

区役所では、平成26年度から京都市都市緑化協会と連携し、緑を通し地域文化の理解と継承を図ることを目的に、自生種の「ヒオウギ」(京都府準絶滅危惧種)の育成に取り組んでいます。

総合学習で「ヒオウギ」について学ぶのは、昨年に引き続き2回目です。約100名の児童は、「ヒオウギ」の特徴や育て方、祇園祭との関係について学んだ後、自生種の「ヒオウギ」を鉢に丁寧に植えこんでいました。児童は、祇園祭で「ヒオウギ」がなぜ飾られるようになったのか、育てるときに一番大切なことは何かなど、熱心に質問していました。今年も児童によって大切に育てられ、きれいな花を咲かせるでしょう。



日常生活自立支援事業「生活支援員」募集

高齢の方、知的や精神に障害のある方などで、判断能力が十分ではなく、一人で地域で生活するのに不安のある方に対して、福祉サービスを利用するための手続きの仕方や毎日のお金の管理などを援助する事業です。今回、利用者宅に実際に訪問し、活動に当たっていただく「生活支援員」を募集します。

【資格要件】

- ①中京区在住の方で満30歳以上、満75歳未満の方
 - ②社会福祉に関心のある方
 - ③平日に月1回以上活動可能な方(1回1~1時間半程度)
- ※但し福祉の仕事に従事している方や民生委員は対象外
申込み・問合せ 中京区社会福祉協議会(☎822-1011)

7月子ども用品交換会 同時開催!

7月23日(木) 10:00~
テーマ:「夏物衣類・夏エンジョイグッズ(水遊び・甚平など)」をお持ち下さい!

ベビサポ広場催しのお知らせ

毎週木曜日の午前10時~12時の間に乳幼児親子で楽しむイベントを区役所1階ホールで開催しています。ぜひお気軽にご参加ください。
※内容により先着順となり、ご参加頂けない場合もございます。



予約不要 参加費無料

- 7月2日 0歳児ルーム in 区役所
- 7月9日 足の成長は体や脳の発育にも影響する、とつても大事なもの。足育お話し~サンダルの選び方~&個人測定会
- 7月16日 赤ちゃんの喜び「だっこおんぶ」で育てよう!
- 7月23日 助産師さんによる、赤ちゃんも使用OK!メディカルアロマ~日焼け後ローション・虫除けスプレー編~
- 7月30日 赤ちゃんのこころの育ちについて

問合せ 総務・防災担当(☎812-2421) 中京ベビサポ 検索



便キリ 食キリ 水キリ

「食べ残しゼロ推進店舗」を募集しています!

認定条件

- ① 次の①~⑧の認定条件のうち、2つ以上実践する飲食店等。詳細は申請書のチェックリストをご覧ください。
 - ② 食材を使い切る工夫
 - ③ 食べ残しを出さない工夫
 - ④ 宴会、冠婚葬祭での食事等における工夫
 - ⑤ 食べ残しの持ち帰りができる工夫
 - ⑥ ⑤ごみ排出時の水キリ等の工夫
 - ⑦ 使い捨て商品の使用を抑える工夫
 - ⑧ 食べ残しゼロに向けた啓発活動
- ※上記以外の食べ残しを減らすための工夫

申請方法

申請書を下記の宛先へ郵送、FAX、メール又は持参のいずれかの方法で提出してください。申請書は、京都市情報館及び京都生ごみスキリ情報館からダウンロードできます。

申込み・問合せ

生ごみ減量推進課
(☎213-4930) FAX:213-0453
E-mail:junkan@city.kyoto.jp
住所:〒604-0924 中京区河原町通二条下る一之船入町384番地ヤサカ河原町ビル8階

生ごみスキリ 検索



認定ステッカー

推進店の取組内容

- 推進店は、次の取組を実践します。
- 選択した取組を積極的に実践
- 交付された認定ステッカーを店舗に掲示
- 取組内容について来店者等へ積極的にPR
- 京都市が実施する調査等への協力



その1 「空き家の現状」

中京区における空き家率は11.8%と、5年前の14.6%から3ポイント近く減少していますが、住戸数ではまだ8千戸近くの空き家が存在します。(総務省「平成25年住宅・土地統計調査」より)

空き家は、資源の無駄使いとなるばかりでなく、放置すると危険な状態となり、地域の住環境にも悪影響を及ぼしかねません。

空き家に関する相談や困りごとがありましたら、まずは区役所までご連絡下さい。様々な制度や相談先等をご紹介します。

問合せ 総務・防災担当
(☎812・2421)



「空き家の便利帳」都市計画局作成